



交通みやぎ

交通安全協会は、交通事故“ゼロ”をめざし、限りなく歩みつづける団体です。

2025/第216号

発行

一般社団法人

宮城県交通安全協会

(宮城県交通安全活動推進センター)

〒980-0011

仙台市青葉区上杉一丁目2番3号

☎022 (223) 1130



令和8年度
4月1日施行

自転車の交通違反に対する 交通反則通告制度(青切符)の適用

対象となる自転車運転者の年齢→**16歳以上の運転者**

青切符の対象となる自転車の違反行為の例と反則金



- 携帯電話使用(ながら運転).....**12,000円**
- 遮断踏切立ち入り.....**7,000円**
- 信号無視(赤色等).....**6,000円**
- 通行区分違反.....**6,000円**
- 夜間無灯火.....**5,000円**
- 一時不停止.....**5,000円**
- 二人乗り.....**3,000円**
- 並進走行(並んで走行).....**3,000円**など

交通ルールを守って安全に利用!!

自転車事故の特徴

- 自転車利用中死傷者の4割以上に違反
- 交差点での発生が多い

(令和4年11月1日改定)

自転車安全利用五則

- ① 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用



交通安全協会の活動等を広く紹介...

宮城県交通安全協会では、多くの方々に協会へのご理解とご協力をいただくため、X(旧ツイッター)により、県内の交通安全に関する行事やイベントをはじめ、交通安全協会の活動、入会費の活用内容、入会した方の特典等を随時紹介しています。



令和7年度 定時総会開催

～令和6年度 事業報告・収支決算報告等の承認を得る～



6月12日(木)、宮城県交通安全協会では「令和7年度定時総会」をホテル白萩にて開催し、6議案について審議が行われ原案どおり可決・承認されました。

- 令和6年度事業報告
 - 令和7年度正会員会費変更(案)
 - (一社)宮城県交通安全協会定款一部改正(案)
 - 令和6年度収支決算報告
 - 令和8年度正会員等会費改正(案)
 - 役員の選任
- ※収支決算等の詳しい内容については、当協会のホームページをご覧ください。

会員特典 **入院見舞金・死亡弔慰金制度**

会員の方が

- 自動車・二輪車を運転中又は同乗中
- 自転車乗車中又は歩行中の事故で30日以上継続入院治療または40日以内に死亡した場合に

見舞金又は弔慰金が支払われます

詳しくは各地区交通安全協会にお問い合わせください。

会員特典 **交通安全協会協賛店制度**

暮らし・レジャーに県内200社(店)を超える協賛店のお得な割引や特典サービスが受けられます。

交通安全協会協賛店

- ホテル・旅館宿泊費の10%割引
- レンタカー・運転代行料金の10%割引
- 自動車修理工賃の10%割引
- ガソリンスタンドの給油料金が会員価格やタイヤ購入で10%割引
- 各種協賛店での10%・20%割引などの特典があります。

このステッカーが目印です。

安心 親切 丁寧 な教習 **みやぎ自動車学校**

宮城県交通安全協会直営

会員とご家族様特典 会員とご家族の免許取得は、普通車・自動二輪車の**基本講習料金**(税込、検定料金を除く)の**6%割引**をしています。

※ただし、カード支払い及び学割制との重複優遇は適用いたしません。

仙台市太白区東郡山一丁目 10-1

TEL 022-248-1104 0120-380-717

「オンライン学科教習」実施中!! 宮城自動車学校 検索

自転車事故の高額賠償への備え

全日本交通安全協会の自転車利用者向け保険 **サイクル安心保険**

1ヶ月あたり約140円からはじめられる安心

●自転車事故保障コース A・B・C

ご家族全員の自転車事故による賠償責任最高1億円の補償と示談交渉を行います。

プラン	プランA	プランB	プランC
賠償責任	保険金額1億円+示談交渉サービス(家族全員対象)	賠償+個人賠償	賠償+個人+家族賠償
死亡・後遺障害	本人 1,000万円	本人 1,000万円	本人 1,000万円
入院(日額)	本人 3,000円	本人 3,000円	本人 3,000円
掛け金(年額)	1,670円	2,690円	4,370円

●交通傷害ワイド補償コース D・E・F

ご家族全員の自転車事故+日常生活に起因した賠償事故の賠償責任最高3億円の補償と示談交渉を行います。

プラン	プランD	プランE	プランF
賠償責任	保険金額3億円+示談交渉サービス(家族全員対象)	賠償+個人賠償	賠償+個人+家族賠償
死亡・後遺障害	本人 50万円	本人 500万円	本人 500万円
入院(日額)	本人 6,000円	本人 6,000円	本人 6,000円
掛け金(年額)	2,030円	4,290円	7,140円

TSMマーク まずはお近くの自転車安全整備店へ

自転車の点検・整備(有料)時に貼付され、保険が付帯されます。(1年間有効)

種類	傷害補償	賠償責任補償	被害者見舞金
●死亡・重度後遺障害(1~4級)	●死亡・障害(すべての人身事故)	●賠償責任補償により対応	
●入院15日以上の傷害	●死亡・後遺障害(1~4級)	●入院15日以上の傷害	
●死亡・後遺障害(1~4級)	●死亡・後遺障害(1~4級)	●入院15日以上の傷害	
●死亡・後遺障害(1~4級)	●死亡・後遺障害(1~4級)	●入院15日以上の傷害	

交通安全協会 あなたの地域の交通安全を支えるのはあなたです

交通安全活動

- 子どもと高齢者を交通事故から守る運動
- シートベルト・チャイルドシートの着用運動
- 飲酒運転根絶運動
- 春・夏・秋・年末の交通安全運動
- マナーアップみやぎ運動 など

交通安全教育

交通安全広報

優良運転者等表彰

会費/1年間につき500円

免許更新時に交通安全協会へのご加入をお願いします

交通安全運動 各地区協会の活動レポート

仙台北地区 高齢者を対象にシミュレーター、クイックキャッチ・アーム等の体験を通じて交通安全を呼びかけた。

若林地区 通学路において、のぼり旗を掲げて自転車の安全指導とともに交通事故防止を呼びかけた。

石巻地区 交通事故の発生に伴い、田舎交差点において、のぼり旗を掲げて交通事故防止を呼びかけた。

気仙沼地区 商業施設において、警察やドライバーに安全用品を配りながら交通安全を呼びかけた。

登米地区 ドライバーに「安全」の文字とチャレンジを配りながら安全運転を促す「安全なす(なす)作戦」キャンペーンを展開した。

南三陸地区 幼稚園児が太鼓を叩く作りのマスコットを配り、安全運転を促す「安全なす(なす)作戦」キャンペーンを展開した。

栗原地区 模擬信号機を使った交通安全教室を開催し、幼稚園児に交通ルールと交通安全を呼びかけた。

遠田地区 ドライバーに「夏の運転はシワツツとソーダ水で早めの休憩」を促し、過度な緊張感とゆとりある運転を呼びかけた。

玉造地区 夏の交通安全運動の一環として、運転者に冷却バックなどを配りながら安全運転を呼びかけた。

柴田地区 国道において、ハンドボードや横断幕を掲げて夏の交通安全運動を呼びかけた。

角田地区 国道でつながる白石・角田・相馬において、たすきリレーによる街頭キャンペーンを展開し、交通安全を呼びかけた。

亘理地区 交通安全と防犯を呼びかける広報大使として管内の小学生10名を任命し、交通安全運動を呼びかけた。

秋の交通安全

9月30日(火)
交通事故死ゼロ
を目指す日

県民総ぐるみ運動

2025年

9月21日(日)▶9月30日(火)

「つける」「見つける」反射材とライトで安全確保



歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣類等の着用促進

ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進

自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

SDGs宣言

宮城県交通安全協会では、令和7年5月13日、重点的な取組テーマとして次の3つの目標を掲げてSDGs宣言をしています。

①社会貢献・地域貢献 交通安全、地域貢献、持続可能な地域づくり

●交通事故のない安全で安心な地域社会の実現に向けた取組を実施し、郷土の未来と将来を担う子どもたちを守る交通安全活動を展開して倫理観の高い風土の醸成に努めます。また、交通安全を実現するという社会使命を担う団体であることを認識し、将来を見据えた地域への貢献活動を展開します。



②人権・労働 ハラスメントの禁止、ダイバーシティ

●性別、年齢や役職等に関する差別によるセクハラ、パワハラ、マタハラ等を防止する環境を構築します。



③公正な事業慣行・組織体制 個人情報保護、内部管理体制

●特定個人情報の厳正な管理を徹底するとともに、その意識啓発・教養に努めます。



みやぎ・交通メモ

- 県内の車両保有台数 (令和7年6月末現在・東北運輸局統計)
1,633,790台 (二輪以下は含みません)
- 県内の運転免許人口 (令和6年12月末現在・警察庁統計)
1,534,869人 (男性823,027人・女性711,842人)
- 県内の交通事故 (令和7年7月末現在)
 - 人身事故 2,071件 (-41件)
 - 死者数 20人 (-7人)
 - 負傷者数 2,520人 (-28人)

※件数、負傷者数は概数です。()は前年同期比です。